

2019年3月22日

各位

JXTGエネルギー株式会社  
東京電力フュエル&パワー株式会社

## 東京大井地区における水素ステーション事業に関する基本合意について

JXTGエネルギー株式会社（代表取締役社長：大田 勝幸、以下「JXTG」）と東京電力フュエル&パワー株式会社（代表取締役社長：守谷 誠二、以下「東電FP」）は、本日、東京大井地区における水素ステーション事業について基本合意しましたので、お知らせいたします。

JXTGは、東電FPが運営する大井火力発電所の一部敷地において、2020年度初めを目途に、敷地内に都市ガス改質型の水素製造装置を有する（オンサイト方式）、商用水素ステーションの建設を目指してまいります。東電FPは、大井火力発電所の敷地及びインフラ等を提供します。また、原料となる都市ガスは、JXTG、東電FP等が出資する「扇島都市ガス供給株式会社」の製品を使用する予定です。

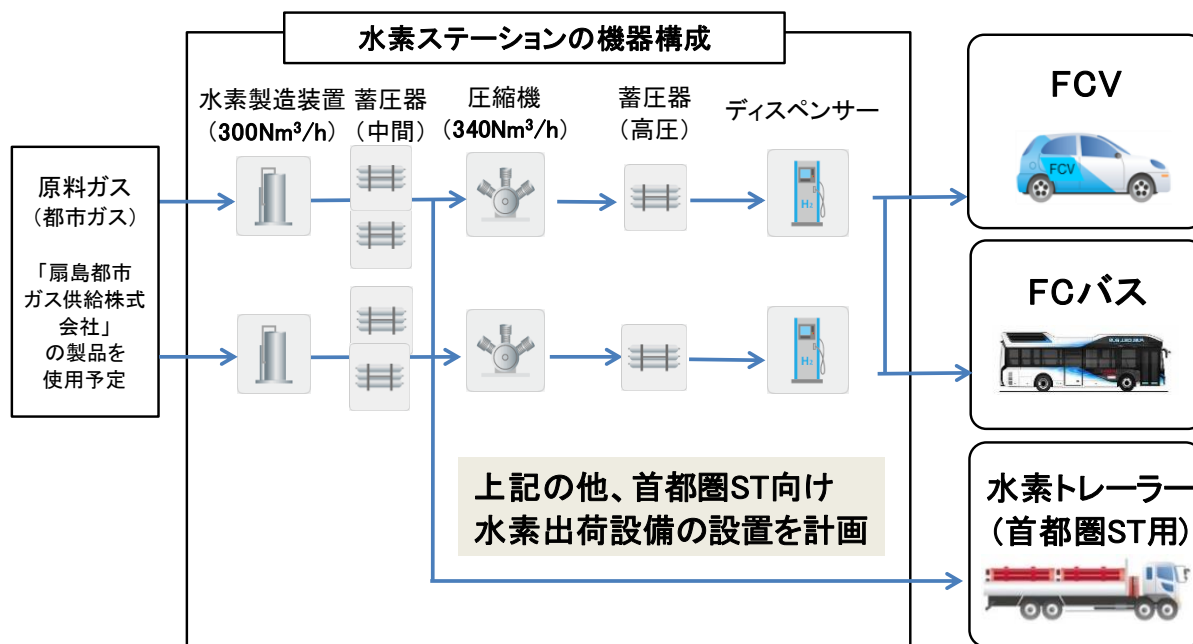
本水素ステーションは、世界有数の水素供給能力を有し、2020年を機に普及が期待される乗用車タイプの燃料電池自動車（FCV）に加え、東京都が導入を推進している燃料電池バス（FCバス）への水素供給拠点となります。さらに、首都圏のJXTG水素ステーションへの供給を目的に、水素出荷設備の設置を計画しております。

今後も両社は、それぞれが保有するリソースやノウハウを活用しながら、水素事業を含め幅広い分野で協力関係を模索することで、国際競争力のあるエネルギーの安定供給および低炭素社会実現への貢献を目指してまいります。

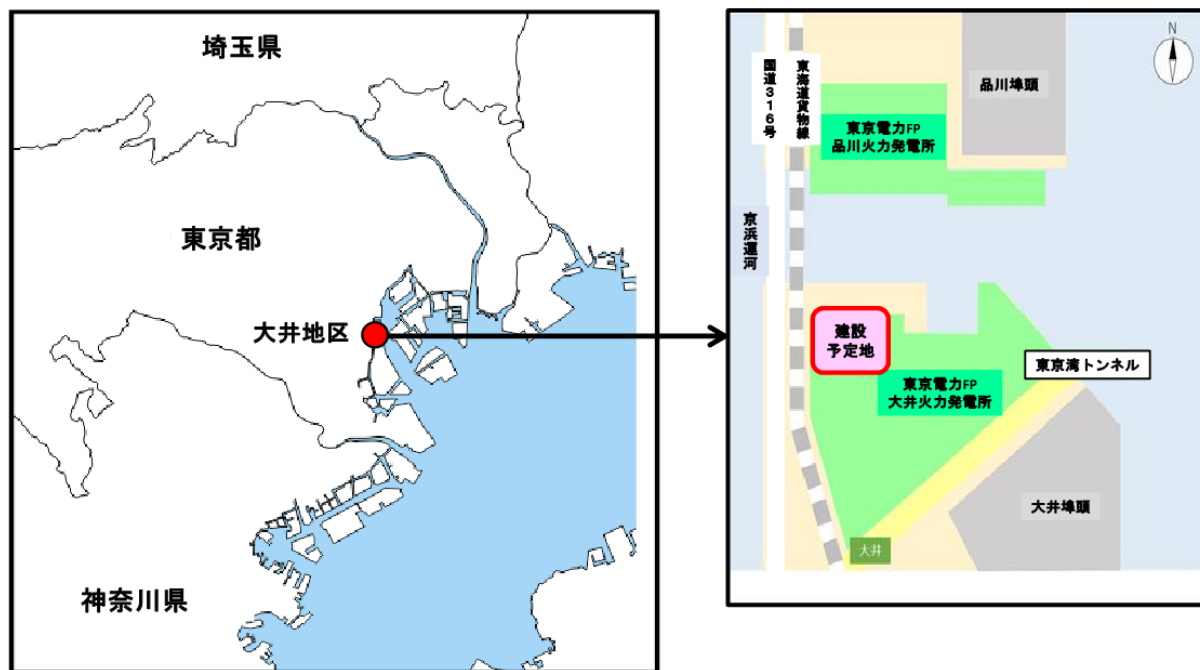
## &lt;大井火力発電所内の水素ステーションの概要&gt;

名称	東京大井水素ステーション（仮称）
営業開始予定	2020年度初め
所在地	東京都品川区八潮1-2-2（大井火力発電所内）
敷地面積	約2,900㎡（約879坪）
水素供給能力	600Nm <sup>3</sup> /時
水素供給方式	オンサイト方式（水素製造装置をステーション内に設置）

<水素ステーションの基本構成予定>



<建設予定地>



以上

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

JXTGエネルギー株式会社 広報部広報グループ

03-6257-7150

東京電力フュエル&パワー株式会社 経営企画室コミュニケーショングループ

03-6363-6310